

令和3年第4回占冠村コミュニティ・スクール議会会議録（第1号）
令和3年11月5日（金曜日）

○議事日程

- 議長開会宣言（午後2時30分）
- 日程第 1 会議録署名議員の指名について（阿部 彩花君、高橋 聡美君）
- 日程第 2 会期決定について
諸般報告
- 日程第 3 意見報告
講評

○出席議員（29人）

（占冠中学校）	3年	石 塚 聖 君	議長	3年	井 川 結 君	
	3年	堀 江 風 仁 君		3年	満 永 梓 咲 君	
	2年	阿 部 彩 花 君		2年	奥 田 紗 帆 君	
	2年	高 橋 聡 美 君		2年	伊 達 結 月 君	
	事務局長	2年		八 木 翔 琉 君	2年	ルックス 授 那 君
	1年	石 坂 佑 都 君		1年	石 塚 葵 君	
	1年	蠣 崎 蒼 空 君		1年	神 田 柊 斗 君	
	1年	熊 崎 莉 子 君		1年	小 瀬 綺 乃 君	
	1年	佐々木 琉 翔 君		1年	千 葉 朗 磨 君	
	1年	森 田 真 央 君				
（トナム学校）	8年	藤 本 このはな 君	副議長	7年	下 川 冬 翔 君	
	7年	仙 石 桜 子 君				
（村議会議員）		児 玉 眞 澄 君		大 谷 元 江 君		
		藤 岡 幸 次 君		五十嵐 正 雄 君		
		細 谷 誠 君		下 川 園 子 君		
		小 林 潤 君				

○欠席議員（0人）

○特別顧問

村長	田 中 正 治 君	副村長	松 永 英 敬 君
教育長	多 田 淳 史 君		

○出席村議会事務局職員

事務局長	岡 崎 至 可	事務補	三ツ谷 陸 翔
------	---------	-----	---------

開会 午後2時30分

◎村民憲章

〇CS事務局長（八木翔琉君） 事務局長の占冠中学校2年、八木翔琉です。よろしくお願ひします。

起立、礼。

村民憲章を朗読します。私の後に続いてください。

ひとつ、健康で、しあわせな家庭をつくりましょう。ひとつ、自然を愛し、美しい環境をつくりましょう。ひとつ、きまりを守り、明るいまちをつくりましょう。ひとつ、生産を高め、活気ある社会をつくりましょう。ひとつ、文化を育て、豊かな郷土をつくりましょう。

お座りください。

◎特別傍聴人紹介

〇CS議長（奥田紗帆君） 本日の議事進行を進めさせていただきますコミュニティ・スクール議会議長、占冠中学校2年、奥田紗帆です。よろしくお願ひいたします。

今、CS議会において、特別顧問として占冠村3役の方にご参加していただいておりますので、お名前をご紹介します。

占冠村長、田中正治君。

占冠村副村長、松永英敬君。

占冠村教育委員会教育長、多田淳史君。

本日は、お忙しい中ご参加いただき誠にありがとうございました。

◎開会宣言

〇CS議長（奥田紗帆君） では、早速ですがCS議会を開催いたします。

ただいまの出席議員は29名です。令和3年第4回占冠村コミュニティ・スクール議会を

開会します。

◎日程第1 会議録署名議員の指名について

〇CS議長（奥田紗帆君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

CS議会の会議録署名議員は、議長において阿部彩花君、高橋聡美君を指名します。

よろしくお願ひいたします。

◎日程第2 会期決定について

〇CS議長（奥田紗帆君） 日程第2、会期の決定の件を議題とします。

お諮りします。

本CS議会の会期は本日、11月5日の1日間としたいと思ひます。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

〇CS議長（奥田紗帆君） 異議なしと認めます。

したがって会期は本日、11月20日の1日間と決定しました。

◎諸般報告

〇CS議長（奥田紗帆君） これから諸般の報告を行います。八木事務局長。

〇CS事務局長（八木翔琉君）

お配りしております審議資料の裏面をご覧ください。読み上げてご報告いたします。

2、出席できるCS議会議員は、占冠中学校3年石塚聖君以下記載のとおりです。

4、CS議会議員の動向は、6月2日 村議会議員、今期CS議会の取り組み基本方針を検討しました。

6月21日 占冠中学校、トマム学校、村議会議員でCS議会取り組み内容の協議を行いました。

9月8日 村議会議員、今期CS議会の実

施内容を決定しました。

9月27日 トナム学校、SDGsのテーマについて学びました。

10月6日 トナム学校、発表方法、役割分担を決めました。

10月19日 トナム学校、生徒と議員によるグループワークを実施しました。

10月25日 占冠中学校、生徒と議員によるグループワークを実施しました。

10月28日 トナム学校、発表内容について改善しリハーサルを行いました。

以上、ご報告いたします。

OCS議長（奥田紗帆君） これで諸般の報告を終わります。

◎日程第3 意見発表

OCS議長（奥田紗帆君） 日程第3、これから10月19日にトナム学校で開催したグループワーク、10月25日に占冠中学校で開催したグループワークの意見報告を行います。

村議会議員と生徒がそれぞれグループをつくり、各テーマに沿って協議を進めてきましたので、その内容、意見等の発表をお願いします。

順番に発言を許します。

◎トナム学校

OCS議長（奥田紗帆君） 初めにトナム学校「陸の豊かさを守ろう」についてお願いします。

Oトナム学校（藤本このはな君） これからトナム学校の発表を始めます。私たちは、SDGs 15番目の「陸の豊かさを守ろう」を選択しました。このテーマを選択した理由は、自分たちが占冠村という広大な自然の中に住んでいるからこそ今後もこの自然を大切にしていきたいと強く考えたからです。

まず、私たちは陸の生態系に関して現在の世界の状況を調べてみました。食料や水・木材・薬品・燃料など私たちの暮らしは陸上の自然から得られる恵によって成り立っています。世界の森林面積は約40億ha、全ての陸地の3分の1近くを占めます。しかし、人々の暮らしが豊かになっていく中で、陸上の多様な自然環境がどんどん破壊されてしまいました。例えば世界の陸地の面積の3割を占める森林は、毎年約470万ha以上のペースで失われているといわれます。470万haという面積は、東京ドームの面積に例えると約何個分に相当すると思いますか。実に100万5千個分に相当します。森林減少のスピードはすさまじく1分間で東京ドーム約2個分、1時間でおよそ127個分の広さの森林が地球上から消えている計算になります。特に南米・アジア・アフリカなどの熱帯林の減少が目立っていて森林の過剰な伐採や農地への転用、森林火災等により減り続けています。森林は生き物たちが暮らす場所だけではなく酸素や土をつくり、水を貯える役割なども果たしています。一度なくなると元に戻すために長い年月が必要です。また、野生生物の内3万7400種が絶滅の危機にあるといわれています。例えば、トキ・イヌワシ・クニマス・イリオモテヤマネコ・シマフクロウ等がいます。私たち人間はこれまで自然の豊かな恵みを受け取って生きてきました。これからもその恵みを受け取り将来にわたって生きていくためには、自然環境や生態系を守り、自然とともに生きていくための新しいやり方を考えなくてはなりません。

OCS議会議員（仙石桜子君） 次に、占冠村の生態系の状況を調べてみました。面積は571.1km²で東京23区とほぼ同じという広大な面積です。森林の割合はなんと94%です。特

に占冠村の林業は農業と共に村を支える基幹産業としての役割を果たしてきました。森林の役割は木材の生産のほか、地球環境保全や住民の安らぎの場としての役割も補っています。また占冠村にはたくさんの動植物が生息しています。例えば、キタキツネ・エゾシマリス・エゾキウサギなどがいます。正に占冠村は自然の宝庫といえます。そのような自然豊かな占冠村を守り、更にその魅力を外に発信していくためにトナム学校では次の3点を問題点として考えました。1つ目が、ゴミのポイ捨てです。2つ目が、野生動物への餌やりです。3つ目が、自然とのふれあいです。

1つ目の問題点は、ゴミのポイ捨てです。ゴミのポイ捨てを問題点にした理由は、ここは観光地なので観光客がたくさん来ます。そのためゴミが捨ててあると、気分を悪くしたり、観光客が来なくなるかもしれないからです。この前、トナム市街地の道端のゴミの調査をしました。200m程のところにはタバコが5つ、空き缶が7つも落ちていました。このことからゴミの問題の解決が大事だと考えました。解決策として、まず最初にゴミ箱を設置するという案を考えましたが、現在新型コロナウイルスの感染対策の点や野生動物の獣害などの点でゴミ箱の設置などは断念しました。そこで、解決策を2つ考えました。

1つ目は、ゴミのポイ捨て禁止の看板の設置です。村内3校の児童生徒にポスターを募集します。コンテストを行い、優秀作品を看板にしてもらいます。子どもたちの作品の方が大人の方にも注目してもらえると考えました。

2つ目は、監視カメラの設置です。設置場所はゴミが良く捨てられる場所です。カメラを設置することで抑止効果があると考えました。それと、新聞にも掲載されていた細谷議

員さんや下川議員さんが参加されていた、第1回占冠村ガイドツーリング、村民サイクリングはとても面白い取り組みだと思いました。自分たちもいつか参加してみたいと思いました。これからも続けてほしい取り組みです。

OCS 議会議員（下川冬翔君） 次に、野生動物への餌やりの防止が大切だと思います。そう思う理由は、観光客からの餌やりにより、人に慣れて駆除されてしまったり、道路の真ん中に出てきて車にひかれたりしてしまうことがあるからです。ほかにも餌を探す能力がなくなったり健康被害が出ることもあります。そのために解決策を3つ考えました。

1つ目は、広報、観光パンフレット、ホームページで餌やりの注意喚起をしてもらうことです。広報なら村内に住んでいる人たちに餌やりはなぜいけないことなのかを知ってもらえるからです。観光パンフレットやホームページなら餌やりはいけないことだと観光客に理解してもらえと思ったからです。

2つ目は、看板の設置です。道路の脇などにこのような看板を設置することです。看板は運転中にふと目に留まると思ったからです。

3つ目は、チラシで注意喚起をすることです。餌やりは人間にも動物にも不利益だということを伝えるチラシを作ることです。これは学校で作ったり村の人たちの手を借りることです。最後に村民や観光客の多くの人に野生動物への餌やりがいけないことだと知ってもらうことが大切だと思います。

OCS 議会議員（藤本このはな君） 次に、自然と触れ合えるイベントが大切だと思います。そう思う理由は、占冠村には自然と触れ合えるイベントが少ないと思ったからです。この占冠村には広大な自然があるのにあまり活用しないのはもったいないと思ったからで

す。そこで解決策を2つ考えました。

1つ目は、自然と触れ合えるネイチャーツアーの開催です。例えば世界遺産の屋久島でも行っている旅行と環境学習を合わせたネイチャーツアーを開催するのはどうでしょうか。占冠の大きな自然を利用して占冠にもっと親しめる森を散策するイベントです。自然について学ぶこともできるイベントになると良いなと思います。

2つ目は、植樹体験のイベントです。トマムから占冠に向かう途中ところどころに木が切られているところを見ることがあります。そこで木の苗を植えるイベントを開催することで占冠村の自然を守り豊かにすることができると考えました。

OC S 議会議員（下川冬翔君） 今回のCS議会に向けて私たちが調べてきたことに着眼すると、この占冠村には達成すべき課題がまだ多く残っています。ですが、それを見て見ぬふりするのではなく自分たちが今できることに取り組んで問題の解決に繋げていくことが大切だと思います。そこで、これから自分たちが実践してみたいことについて次の3つを考えました。

1つ目は、ゴミ拾いです。町内会のゴミ拾いに積極的に参加したり、個人で休日などにゴミ拾いをしたいです。また、サイクリングにも参加したいです。

2つ目は、占冠村のゴミの現状を学校のみんなに知ってもらう集会を企画することです。学校の若葉会が中心になって占冠村のゴミ処分場の埋め立ての現状や、ゴミのポイ捨ての現状を知ってもらうための集会を実施したいです。

3つ目は、トマム学校版のポスター作りです。これも学校の若葉会が中心になってポイ捨て禁止や動物への餌やり禁止のポスターの

図案のアイデアをみんなに出してもらい、そのアイデアをもとにトマム学校版のポスターを制作したいです。自分たちのかけがえのない自然環境を守り持続可能な自然環境を次の世代に残していくための行動をしたいです。まず、自分たちの身近なところから具体的に考え実践していきたいと思います。これでトマム学校の発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。

○議長（奥田紗帆） ここで特別顧問より一言発言を求めます。占冠村長、田中正治君。

○村長（田中正治君） 令和3年のコミュニティ・スクール議会にあたりまして一言お礼を申し上げたいなと思っております。昨年はコロナ禍ということで、コミュニティ・スクール議会も書面開催ということでありましたが、今年こうして議場で開催され、しかも今までのやり方を大きく変更され、より多くの方が参加をし、自らが考えるという方法でコミュニティ・スクール議会が開催されました。報告書を見ますと議会を開くまでに皆さんがどういった内容で開催する、あるいはこのテーマについてSDGs、大変難しいテーマでありますけども、このテーマについて真面目に向き合ってみんなで考える、そしてグループワーク、あるいはリハーサルと大変すばらしい活動をここまで実践して来られたんだなと関心をしているところでありますし、これから皆さんの学習、あるいは将来においてもこういう経験、大変役に立つと思いますのでぜひこれからも占冠村のために努力していただき、ご協力をしていただきたいなと思います。

最初のテーマであります、SDGsの中から「陸の豊かさを守ろう」ということで、それぞれ皆さん考えていただきました。その中で問題点の抽出ということで3点、ゴミのポ

イ捨て、あるいは野生動物への餌やり、自然と触れ合えるイベント、これについてそれぞれができること、それから住んでいてできることは何だろうというところまで掘り下げて議論をしていただいたということで大変参考になりました。村もよく集落対策で住民ができることは住民がやってもらう。それから村がやるべきことは村がやるということで集落対策をいろいろ進めているわけですが、正に占冠村全体の中でも村としてやらなければならないこと、それから住んでる人ができることはやること、これは大事なことだと思いますので皆さんが考えた中身について村への提案も多く含まれていましたので、ぜひ村としても中身を検討しながらせっかく考えていただいたことに対して真摯に検討していきたいなと思っております。回答というか意見を求められているということなので具体的な内容については申し上げませんが、ぜひこれからもそういった自然豊かな占冠村の中で何ができるんだろうということを考えながら日々学習に励んでいただきたいなと思っておりますのでよろしくお願いします。ありがとうございました。

〇CS議長（奥田紗帆君） 田中村長ありがとうございました。発表者は自席にお戻りください。

◎占冠中学校Dグループ

〇CS議長（奥田紗帆君） 次に移ります。占冠中学校Dグループ「質の高い教育をみんなに」についてお願いします。

〇CS議会議員（満永梓咲君） 私たちのテーマは「質の高い教育をみんなに」です。このテーマの問題点は5つあります。

1つ目は、世界には教育が受けられない子供がいるということです。例えば、アフガニ

スタンの子供たちです。その理由は貧困で授業を受けられるお金がなく経済的にも余裕がなく近くに学校がなかったりするからです。教育が受けられないと大人になってから社会に出た時に困ります。

2つ目は先生の技術問題です。

3つ目は生徒の授業を受ける側の問題です。

4つ目は生徒の積極性が足りていないことです。

最後に国の政治的な問題が入ってきます。この5つの問題点を解決するために私たちが考えたことは3つあります。

1つは、教えに行くことです。先進国から発展途上国へ行き教育をします。

2つ目は、世界から新品じゃなくても使えるものを寄付することです。例えば私たちが6年間使ったランドセルや短くなった鉛筆です。これらを寄付することでゴミを減らすこともできます。

3つ目は、大人の学校をつくることです。大人は戦争を起こす原因にもなります。なので戦争を起こす人たちをなくすために学校をつくります。最後に自分達ができることを考えてみました。授業を受けられることに感謝し物を大切にします。勉強が嫌でも自分の好きなものを見つけちゃんと勉強をする。問題に対して興味を持ち何事にもチャレンジしてみます。これで私たちの発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。

〇CS議長（奥田紗帆君） ここで特別顧問より一言お願いします。占冠村教育委員会教育長、多田淳史君。

〇教育長（多田淳史君） 非常にわかりやすい内容でよく議論されたということで感じしております。今回のこの「質の高い教育をみんなに」というテーマについては、日本は義務教育が9年間法律で定められていますので、

世界に比べるとかなり高い水準の教育が受けられているということになっていますが、世界を見ると戦争ですとか貧困によって全く教育が受けられないという事実がございます。このことについては皆さん今回の学習で学ばれたのではないかと考えています。

世界に皆さんが目を向けて世界のために頑張る、世界の人たちに教育をしていくということに対して村の方で何ができるのかということで私の方でも考えてみたんですけども、今占冠村教育委員会では学校でICTを活用した学習を推進しています。それからアスペン市との交流ですね。今日も2年生の学習でアスペン市との交流を行ったんですけども、そういう形で国際感覚を身に着ける学習というのをさせていただいて世界を意識した人材を育成したいということで私たちも頑張っております。今後こうやって私たちが人材育成の手助けをして、皆さんが今度更に上の学校、高校それから大学へ行って例えば教育ですとか、福祉医療、それからスポーツ、そういった専門分野で活躍するようになってそして更に今度は村に帰って来て、そしてまた今度その方たちが中学生なり小学生を指導して、更にまたその子たちが社会に出てまた村に何か恩返しをしてくれる。村で活躍してくれる。そういうような施策を教育委員会として造っていきたくと皆さんの今の発表を聞いて感じました。

今後私たちも皆さんと一緒に頑張っていきたいと思っておりますので、皆さんも今回学んだことを実践していただければなど思っております。今日は皆さんどうもご苦勞様でした。ありがとうございました。

OC S議長（奥田紗帆君） 多田教育長ありがとうございました。発表者は自席にお戻りください。

◎占冠中学校Aグループ

OC S議長（奥田紗帆君） 続きまして占冠中学校Aグループ「働きがいも経済成長も」についてお願いします。

OC S議会議員（井川 結君） 私たちのグループは、「働きがいも経済成長も」の中の失業対策について考えました。その中で失業率の増加と男女が平等ではないという2つの問題点の具体的な対策について話し合いました。失業率の増加の具体的な対策については4つの意見が出ました。

1つ目は、働く場所をつくることです。多くの働き手を必要とする商業施設などを誘致して地元の人を優先的に就職させることで失業者を減らせると思います。

2つ目は、労働環境の改善です。例えば一人当たりの賃金を上げると企業の負担が大きくなるので、それを村が支えたらいいと思います。また、職場をきれいにすることで働く人のやる気にも繋がると思います。

3つ目は、障がいのある人が働ける仕事をつくり、障がい者も働ける環境をつくることです。

4つ目は、大学などの進学や資格を取る援助をすることです。男女の平等についての具体的な対策は、議員さん、役場の方の半分を女性にするなど役場が身をもって表すと思うという意見が出ました。これでAグループの発表を終わります。

OC S議長（奥田紗帆君） ここで特別顧問より一言発言を求めます。占冠村長、田中正治君。

○村長（田中正治君） 今回のグループにつきましては「働きがいも経済成長も」ということでございました。貧困あるいは失業率の問題あるいは男女平等の問題含めてありまし

た。大変難しいテーマであることは間違いありません。

今地方が置かれている状況というのは大都市一極集中が進んだ中で全国の地方自治体は人口減少と高齢化という日本の社会がそういった歪みが生じているという状況の中で、占冠村も正にそういった中に置かれているというのが現状です。提案理由に大きな企業がこういった地方に進出してくるということはかなり難しい状況にあるのではないかなと思います。と言って黙っていると地方の田舎はなくなってしまうということで、私はなんと言っても農業あるいは林業、観光といったこの基幹産業をいかに占冠村で発展定着させていくかということが大事なんだろうと思っていて、そういった政策をまずやっています。

次に、男女平等の観点からも子育て支援、つまり子どもを育てる環境をつくって地域の女性が経済活動に参加ができる体制ということをしていく、少しでも大きくしていければ男女の平等が図られるのかなということで、法律的には雇用機会均等法と言って男女平等ということになってますけども、なかなか社会環境がそれを許していないということがありますので、そういった条件整備をする必要があるだろうと思っています。大きな企業を持ってくることはできませんけども、このコロナ禍の中でリモートワークだとか働き方が少し変わってきていますので、そういった働き方ができないかということも一つ検討する材料なのかなと思っております。

それから、役場が率先して女性を雇用するというご意見もございました。私、役場の体制何人ずつなのかなと思いついて調べたところ職員といわれる人は58名います。そのうち男性が38人、女性が20人ということで半々にはなっていませんけども、他の町村と比較しても女

性の比率が多い方に入るのかなと思っております。実態としてはそういうことになっております。

先ほど教育長も言っていたのですが、様々な有資格者が村で働いてくれる人がだんだん少なくなっています。皆さんに期待したいのは、ぜひそういった目標を持ちながら占冠村に戻って仕事してみたいという方向を出していただければ大変ありがたいですし、村の募集状況を見ながら、募集したときにはぜひ応募してみるということを考えてもらえないかなと考えております。私の意見としてはそういったことで終わりたいと思います。ありがとうございました。

〇〇〇議長（奥田紗帆君） 田中村長ありがとうございました。発表者は自席にお戻りください。

◎占冠中学校Cグループ

〇〇〇議長（奥田紗帆君） 続きまして占冠中学校Cグループ「陸の豊かさを守ろう」についてお願いします。

〇〇〇議会議員（堀江風仁君） 私たちは「陸の豊かさを守ろう」について考えました。僕たちが今の占冠の94%を占める森について話を聞いて、それを基に考えてみました。問題点は始めに木を切る際にでる林地残材が川などに流れています。その影響によって川に居る生き物が被害にあっています。また、最近熊や鹿などといった動物がたくさん町や村などに出てきています。それはデントコーンなどを食べに来ているものも多いですが、今後ゴミなどをあさりに来るかもしれません。現在占冠にはゴミなどがたくさん落ちています。川などととても私的には多いと思います。ゴミがたくさん落ちているので看板の設置や呼びかけが必要だと私は思います。これらの

ことで僕たちにできることは林地残材を加工し再利用すること。ゴミ問題については観光客だけではなく自分たちもゴミを捨てないことや周りの人たちに呼びかけをしていきたいと思えます。これで私たちの発表を終わります。

〇CS議長（奥田紗帆君） ここで特別顧問より一言発言を求めます。占冠村副村長、松永英敬君。

〇副村長（松永英敬君） 松永です。堀江さんですかね。発表していただいたこの「陸の豊かさも守ろう」というテーマで事前に話し合いを重ねられ検討されたことに対して敬意を表したいと思えます。

一応「陸の豊かさも守ろう」というテーマで看板の設置やゴミ問題ということだったんですけども、ちょっとこの資料を拝見しますと森林の問題も今日はちょっとあまり出ていませんでしたけども協議されたのかなと思っております。占冠村はトナム学校の後期生、一番最初に発表されたところもこのテーマで発表されたんですけども、占冠村はご承知のとおり94%が森林で占められていまして森の村と言えるかと思えます。林地残材の利用ということで、それが川に流出して川の生き物などを侵害したり、堀江さん趣味特技が釣りということでそちらの方にも非常に関心が高いのかなと思って聞いておりましたけども、こういった村の山に残っている林地残材を例えば占冠村であれば薪の生産とか、あるいは木工品、道の駅にしもかぶ工房という吉田さんという方がやっている工房があると思えますけども、例えば拾ってきた枝で年輪の模様が入ったボタンを作ったりですとか、そういった資源を余すことなく使うアイデアといったものが非常に大事なのかなと思って聞いておりました。木を使っているものとして2年

前ですかね、建設されました占冠の保育所ご覧になりましたかね。村で育った木を村に木工場がありませんけども村外の木工場に持って行って板にしてもらってそれを占冠村の保育所を建てる時に使ったということで、木の活用なんかも村としては取り組んでおります。

今回陸の豊かさを守る、森林が減っているという問題提起ですけれども、これらについては可能な限り今保育所や木工品の例でお話ししたとおり地産地消というのを進めていくというのが大事だと思いますし、循環型社会に貢献することによって地域の雇用とか経済循環というのが図られてくると思えますので、そういったものをこれから考えていただければ大変ありがたいなと思えます。ちょっと意見と感想ということになりましたけども、これで終わりたいと思えます。大変ありがとうございました。

〇CS議長（奥田紗帆君） 松永副村長ありがとうございました。発表者は自席にお戻りください。

（議長、副議長交代）

〇CS副議長（下川冬翔君） 占冠中学校Bグループについては奥田議長が関係しておりますので、ここからは副議長であるトナム学校7年、下川冬翔が議事進行を務めさせていただきます。よろしくお願ひします。

◎占冠中学校Bグループ

〇CS副議長（下川冬翔君） 占冠中学校Bグループ「住み続けられるまちづくりを」についてお願ひします。

〇CS議会議員（石塚 聖君） 僕たちは「住み続けられるまちづくりを」をテーマに話し合いました。

〇CS議会議員（石坂佑都君） 最近占冠は少子高齢化が進んでいます。その原因の一つ

に働く場所が少ないことが挙げられます。そこで僕は占冠の木や食品を加工する加工工場をつくるべきだと考えます。加工工場ができれば地産地消ができます。

〇〇〇〇議員（ルックス授那君） 占冠の人口は年々少なくなっています。最近では若い人だけではなく、お年寄りの方も少なくなっています。その原因は近くに大きな病院がないからだと思います。年を取るほど病院に通う回数が増えます。でも年を取ると車を運転するのも大変になります。また、高度な技術が必要になる場合もあります。そうすると大きな都市に行かなくてはならなくなります。JRを使えば札幌や帯広へのアクセスが比較的スムーズです。しかし、月に何度も通うことになるかかると費用がばかになりません。そこで病院に通う目的で利用するJRや、バスなどの運賃を村で負担することを提案します。お年寄りに限らず病気になった人も占冠に住み続けられると思います。どんな人でも安心して長く住み続けられる占冠になればいいと思います。

〇〇〇〇議員（熊崎莉子君） 次は、ゴミ問題についてです。今占冠村ではゴミは埋め立てています。トマムリゾートなどの施設では毎日大量のゴミが出ています。そのゴミを埋め立ててしまうと最近では地球温暖化の影響で集中豪雨が増えてきているので、その埋め立てたゴミが流れてしまいます。その問題を解決するために、例えば地域ごとに協力して二酸化炭素の排出が少ない焼却場を設けるなどの方法があります。最近では地球温暖化の影響で集中豪雨が増えてきているので、占冠村でも集中豪雨の可能性が高いと思いました。なので焼却処分が一番確実だと思いました。

〇〇〇〇議員（森田真央君） 今占冠ではゴミを埋めているのでそのゴミを減らすには、

着れなくなった服は着れる人におさがりとしてあげたり、リサイクルショップに持っていけば買い取ってくれるし、ゴミが少なくなり埋めなくても良くなると思います。使えなくなったおもちゃなどは保育所や道の駅で引き取ってくれるので、そこにあげてみてはどうでしょう。

〇〇〇〇議員（石塚 聖君） 今は異常気象でいつ何がおこるか分からないので災害の危機感を持ってもらい、自分の身を守り、他の人たちも守ることが大事だと思います。更に堤防を強化することで災害の被害を減らせることもできます。災害に強い村をつくることができると思います。以上で僕たちの発表を終わります。

〇副議長（下川冬翔君） ここで特別顧問より一言発言を求めます。占冠村長、田中正治君。

〇村長（田中正治君） 占冠中学校のBグループの皆さん大変ご苦労様でした。この「住み続けられるまちづくり」これは正に私のテーマなんです。正に自分が村長になって何をしたいかというテーマが最終的には「住み続けられるまちづくり」つまり持続可能な地域づくり、これが私のテーマになって今一生懸命やっています。そのためには、というところで病院問題、あるいはゴミ問題それから高齢化の問題、災害の問題、クリーンエネルギーの問題、これら含めて私も皆さんが提案してくれた中身をどう解決していくかということで様々なやり方をしながら今進めています。多少皆さんのやり方と違うところもあるかもしれませんが、基本においては考え方としては同じなので、ぜひ皆さんが提案してくれた内容も検討しながら、考えながら、私の最大のテーマ、皆さんから与えられた皆さんが考えたこのテーマを少しでも一致できる

ように頑張りますのでよろしくお願ひしたい
と思います。以上です。

〇〇〇副議長（下川冬翔君） 田中村長あり
がとうございました。発表者は自席にお戻り
ください。

（副議長、議長交代）

〇〇〇議長（奥田紗帆君） 下川副議長、議
事進行ありがとうございました。議事進行を
議長に戻し会議を続けます。

◎講 評

〇〇〇議長（奥田紗帆君） これから、占冠
村議会議長による講評を行います。

占冠村議会議長、児玉眞澄君。

〇〇〇村議会議長（児玉眞澄君） 〇〇〇議会議員
の皆さん本日は大変お疲れさまでした。それ
では第4回コミュニティ・スクール議会全体
について講評と申しますか、感想も含めて申
し上げたいと思います。まず、今回の〇〇〇議
会におけるテーマ選択ということになります
がSDG sを取り上げました。現在、世界各
国で取り生まれ、そしてその動きが加速して
いるSDG sを今回皆さんが取り上げられた
ということは時代にマッチした正にトレンデ
ィな取り組みで私は高く評価したい、このよ
うに思っております。

次に発表についてですが、各グループの発
表につきましては先ほどのように、村長、副
村長そして教育長からそれぞれコメントをい
ただいておりますので、私からは触れませんが、
今日は議長役の奥田さん、それから副議
長役の下川君、そして事務局長の八木君を始
め発表された方々も学校という場ではなく議
会のこの議場という場でこの場が舞台とい
うことで大変緊張して臨まれたかと思いますが、
皆さん堂々として務められたと思います。大
変に良かったと思います。

ここで私から1点、皆さんにご提案をさせ
ていただきたいと思いますが、皆さんが今勉
強されている通りSDG sのゴールには17の
テーマがあります。非常に広範囲にわたる取
り組みが求められていますので、次回もし今
日のこのような機会があれば今回はどちらか
というを与えられたテーマに従って考えた
というような形になっているかと思ひますので、
次回は皆さん自分たち自身で自分らのテー
マの中から一つ選ひ出して、そしてその達成
のために自分たちはどのように考え、そしてど
のように行動するかを勉強するというこ
とも必要ではないかと思ひますので、ぜひ検討
していただきたいと思ひます。

皆さんご存じのとおり、サステナブルと
いう言葉があります。SDG sの頭文字のト
ップになっております。2030年までの開発目
標の達成には皆さんにもできることがたく
さんあると思ひますので、これからもサステ
ナブルという言葉通り継続してSDG sに取
り組んでいただきたいことをお願ひし
まして私からの講評とさせていただきます。これ
からも皆さん頑張ってください。終わります。

〇〇〇議長（奥田紗帆君） 児玉議長ありが
とうございました。

◎散会宣言

〇〇〇議長（奥田紗帆君） 以上をもって本
〇〇〇議会議に付議された案件は全て終了しまし
た。〇〇〇議会議はこれをもちまして閉会したい
と思ひます。ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

〇〇〇議長（奥田紗帆君） 異議なしと認め
ます。

したがって、本〇〇〇議会議はただいまをもち
まして閉会することに決定いたしました。

これで〇〇〇議会議を閉じます。令和3年第4

回占冠村コミュニティ・スクール議会を閉会
します。

散会 午後3時28分

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

令和 3 年 11 月 18 日

占冠村コミュニティ・スクール議会議長 奥 田 紗 帆

占冠村コミュニティ・スクール議会副議長 下 川 冬 翔

(署 名 議 員)

占冠村コミュニティ・スクール議会議員 阿 部 彩 花

占冠村コミュニティ・スクール議会議員 高 橋 聡 美